

外村吉之介

（よしのぶ）民藝研究家。明治二十九年九月、一十七才滋賀、縣立

（二十九）大正十一年關西學院神學部卒。

日本基督教團發職。昭和九年國畫會（藝術館）、「十四年全國民藝大展覽會」、二十年熊本國際民

藝館

（藝術館）等。

著書『圓山の底書』（昭和四十一年十月）、「圓山・日本文教出版株

式會社「圓山文庫」）、『民藝の紹介』（昭和四十一年五月熊本・

熊本國際民藝館）、『民藝論』（昭和四十年十一月二十日朝日新

聞社）、『打テヤモロ手ヲ』（昭和四十六年十一月熊本・熊本國際民

藝館）等。

